

第2回（平成19年度）陸上掘削部会・執行部会 議事録（案）

日時：2007年7月6日（金） PM13：00～15：00
場所：JAMSTEC 東京事務所 大会議室

出席者（敬称略）

執行部：浦辺徹郎（東京大学）池田隆司（北海道大学）小村健太郎（防災科学技術研究所）
角井朝昭（産業技術総合研究所）宮石 修（日鉱探開株式会社）
山田隆二（防災科学技術研究所）

事務局：山田 泰 加賀谷一茶 梅津慶太

欠席者（敬称略）

執行部：井龍康文（東北大学）佐藤比呂志（東京大学地震研究所）徐 垣（海洋研究開発機構）
木村克己（産業技術総合研究所）中田節也（東京大学地震研究所）
林歳彦（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）福井勝則（東京大学）藤井直之（静岡大学）

議事次第

1. 前回(#1_070408)議事録承認〔事務局〕
2. IODP コアスクールとIODP 部会との協力について〔事務局〕
3. 第2回陸上掘削研究に関する情報交換会の記録のHP掲載について〔浦辺部会長〕
4. ICDP ワークショップの支援について〔浦辺部会長〕
5. ICDP プロポーザル申請の推進について〔浦辺部会長〕
6. ICDP パンフレットの和訳・出版について〔事務局〕
7. 本年度の活動と来年度に向けての体制作りについて〔浦辺部会長〕
8. 地質地盤情報協議会シンポジウムの後援について〔角井委員〕
9. ILP(International Lithosphere Program)シンポジウム報告〔池田委員〕
10. その他
 - ・その他報告事項
 - ・次回執行部会開催日程

配布資料

資料 2-1

資料 2-2(1) ブレーメン大学とのコアスクール交流について

資料 2-2(2) J-DESC コアスクールの概要と Schedule

資料 2-2(3) ICDP Training Course について

資料 2-3 陸上情報交換会 議事録（案）

資料 2-4 ICDP ワークショップの支援について

資料 2-5 プロポーザル作成例（WS）

資料 2-6 ICDP パンフレット日本語版製作について

資料 2-7 今年度の執行体制

資料 2-8 ILP (International Lithosphere Program) シンポジウム報告

参考資料 1 AESTO * J-DESC Schedule

参考資料 2 日本地質学会メールマガジン

追加資料 地質地盤協議会シンポジウム ビラ
提地質地盤協議会の提言書（冊子）

 = 欠番。

平成 19 年度第 2 回陸上掘削部会・執行部会 議事録（案）

はじめに事務局より資料の説明がなされた。

1. 前回（#_070408）議事録承認

会議終了までに意見が無かったため、承認された。

2. IODP コアスクールと IODP 部会との協力について

資料 2-2 (1)、2-2 (2)、2-2 (3) に基づいて浦辺部会長・池田委員・事務局より標記の件について説明がなされた。

（報告事項）

- IODP 部会では J-DESC コアスクールとして 6 つのコースを開設する。
- ICDP トレーニングコースがドイツで開催される。参加するに当たっては、ICDP から 2 人程度に旅費支給がある。

（承認事項）

- ブレーメン大学の MARUM と J-DESC で若手の人材派遣交流を行うことを前向きに検討していく。
- 陸上掘削部会としては、主に陸上掘削研究に関わっている人も J-DESC コアスクールへの参加を受け入れることを条件に本スクールの開催を承認する。
- ICDP トレーニングコースの紹介（池田委員作成）については HP へ掲載することが承認された。これについては 7 月末が締め切りであるため、早急に対応する。
- ICDP トレーニングコースの参加については、日本で 7 月末を締切日にし、ドイツにはあらかじめ少し待ってもらよう事務局から連絡する。
- 井龍委員、鷺谷氏、Lake drilling 関係の人に参加の呼びかけを行い、参加者を集める。

3. 第 2 回陸上掘削研究に関する情報交換会の記録の HP 掲載について

資料 2-3 に基づき、浦辺部会長より標記の件について説明がなされた。

- 資料 2-3 を HP に掲載することが承認された。
- ニュースレターに掲載することも可能だが、これについては今後検討する。

4. ICDP ワークショップの支援について

追加資料に基づいて浦辺部会長より標記の件について説明がなされた。

- ICDP ワークショップ（名古屋）が 8 月 19 日～23 日に開催される。
- 名古屋で開催するワークショップについて J-DESC から 30 万円の開催費の支援を行う用意があることは鷺谷氏に伝えてある。
- 開催費支援の中から旅費支援を行う場合は、J-DESC 会員機関からの学生・院生への支

援を優先してもらうことが承認された。

5. ICDP プロポーザル申請の推進について

資料 2-5 に基づいて浦辺部会長より標記の件について説明がなされた。

- 浦辺部会長が以前作成したプロポーザルは直接 HP に掲載ではなく、「例が必要であればお申し出ください」というような文言を掲載し、連絡を受けたら誰かの許可を得なくとも見本として渡すことが承認された。

6. ICDP パンフレットの和訳・出版について

資料 2-6 に基づいて事務局から標記の件について説明がなされた。

- ICDP パンフレットの日本語版出版（4,000 部）を ICDP の予算から出してもらえる。
- 日本では和訳のみを行い、レイアウト・印刷をドイツで行う予定である。
- 7 月中旬から和訳原稿チェック、8 月上旬に GFZ に原稿送付、レイアウト、校正チェック、9 月中納品を予定。
- サブタイトルとして **the thrill to drill** を載せ、日本語タイトルは事務局等で案を出し、検討を行うことが決定された。

7. 本年度の活動と来年度に向けての体制作りについて

浦辺部会長より標記の件について説明がなされ、その後、標記に関する議論がなされた。

- 今年度が終わった段階で、委員の大幅な入れ替えが行われる予定であり、次の体制をどうするかを今後考えていかなければならない。
- 組織については早めに次の体制作りをしなければならない、今後、メールで次の体制（組織・メンバー）をどうするかについて議論していき、次の会合までに具体的な案を作っていく。

8. 地質地盤情報協議会シンポジウムの講演について

角井委員より標記の件について説明がなされた

- 本シンポジウムは 7 月 25 日（水）秋葉原コンベンションホールにて開催予定。
- 公共の情報としてのボーリングコア情報の整備や今後の新産業育成の方向性について言及するシンポジウム。
- 産総研で標記シンポジウムを行うに当たり、J-DESC 陸上部会で後援を行うことが承認された。

9. ILP シンポジウム報告

池田委員より標記の件について報告がなされた。

- 国際リソスフェア計画（International Lithosphere Program; ILP）主催のシンポジウ

ムが 6 月 12 日～13 日にドイツのポツダムで開催された。

- ILP の活動としてはあまり活発ではないが、旗艦的活動として ICDP がある。
- 国際活動として今後 ICDP とジョイントしてければ良い。

10. その他

- ・ その他報告事項

事務局から 2007 年度の活動予定について報告がなされた。

- ICDP ワークショップ (Borehole Monitoring at the Nankai Subduction Zone) が 8 月に名古屋で開催。
- 第 2 回 ICDP 国内実施委員会は今年 12 月に予定。
- 7 月から ICDP 国内プロポーザルの募集開始予定。
- IODP 関連 : NanTroSEIZE が 9 月から開始予定。
- IODP 関連 : New Jersey Shallow Shelf が今年中止。

- ・ 次回執行部会開催日程

年度内に開催予定